

「気づきの質を高める」とはということか

1 気づきとは

○ 今回の学習指導要領の改訂では、「気づき」を次のように定義している。

- ・対象に対する一人一人の認識
- ・児童の主体的な活動によって生まれるもの
- ・知的な側面だけでなく情意的な側面も含まれる
- ・次の自発的な活動を誘発するもの

2 気づきの明確化

○ すべての内容における具体的な学習活動や学習対象，それらを通して関心をもつこと，気づくこと，分かること，考えることは下表のように示されている。

| 階層 | 内容 | 学習対象・学習活動等 | 思考・認識等 | 能力・態度等 |
|-------|-----|---|---|---|
| 第1の階層 | (1) | ◆学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことがわかる ◆通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心をもつ | | ◆楽しく安心して遊びや生活ができる ◆安全な登下校ができる |
| | (2) | ◆家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考える | | ◆自分の役割を積極的に果たすとともに，規則正しく健康に気を付けて生活することができる |
| | (3) | ◆自分たちの生活は，地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かる | | ◆それらに親しみや愛着をもち，人々と適切に接することや安全に生活することができる |
| 第2の階層 | (4) | ◆公共物や公共施設を利用する | ◆身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かる | ◆それらを大切に，安全に気を付けて正しく利用することができる |
| | (5) | ◆身近な自然を観察したり，季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどする | ◆四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心をもつ | ◆自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる |
| | (6) | ◆身近な自然を利用したり，身近にあるものを使ったりなどして，遊びや遊ばせに使う物を工夫して作る | ◆その面白さや自然の不思議さに関心をもつ | ◆みんなで遊びを楽しむことができる |
| | (7) | ◆動物を飼ったり植物を育てたりする | ◆それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもち，また，それらは生命をもっていることや成長していることに気づく | ◆生き物への親しみをもち，大切にすることができる |
| | (8) | ◆自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行う | ◆身近な人々とかかわることの楽しさや喜びが分かる | ◆進んで交流することができる |
| 第3の階層 | (9) | ◆自分自身の成長を振り返る | ◆多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと，自分でできるようになったこと，役割が増えたことなどが分かる | ◆これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに，これからの成長への願いをもって，意欲的に生活することができる |

3 小学校低学年の児童における自分自身への気付き

- (1) 集団生活になじみ、集団における自分の存在に気付く。
⇒ 友達⇒の存在にも気付くこと。
- (2) 自分のよさや得意としていること、また、興味・関心をもっていることなどにも気付く。
⇒ 友達⇒のよさや得意としていることにも気付き、認め合い、よさを生かし合っ
て生活や学習ができるようになること。
- (3) 自分自身の成長に気付く。
⇒ 支えてくれた人々がいることが分かり、感謝の気持ちをもつことや、これか
らの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようになること。

4 気付きの質を高める「表現する活動」

直接体験を重視した学習では、その活動について他者と交流して認め合ったり、振
り返りとりえ直したりすることなども必要である。

児童は生き生きと楽しく活動する中で、様々な気付きをしており、それらについて
言葉や絵、動作、劇化などの多様な方法で表現することによって、生み出した気付き
を自覚することにつながる。

表現する活動は気付いたことをもとに考え、新たな気付きを生み出し、気付きの質
を高めていくことにもなる



